

■米国：ロサンゼルス市、気候変動目標達成に向けてガス火力の停止を決定

ロサンゼルス市のエリック・ガルセッティ市長は2019年2月12日、これまで電力の安定供給確保の観点から議論してきたガス火力電源について、最終的には2029年までに停止することを決定したと発表した。ロサンゼルス市は2050年までにカーボン・ニュートラルとする目標を持っており、これまでもアリゾナ州やユタ州の石炭火力発電所からの電力購入を停止させてきたが、今回の決定でカーボン・ニュートラル目標の達成に近づくことになる。対象となるのは、ロサンゼルス水道電気局の所有する3つのガス発電所で、2024年に Scattergood ガス火力(32万6,000kW)を、2029年までに Haynes ガス火力(72万4,000kW)と Harbor ガス火力(7万5,000kW)を停止させることになる。停止に伴い代替する電力供給をどのように行うのかについては具体的に示されていないが、送配電設備の改良や蓄電池への投資に力を入れることになる。